

響ホール×宮川彬良

Miyagawa Akira
Ensemble Vega



撮影：堀田 力丸

2009響ホールへようこそ第2弾 宮川彬良&アンサンブル・ベガ

この夏は、音楽の愉しさと凄さをたっぷり体感していただく。〈響ホールへようこそ〉第2弾として登場する〈宮川彬良&アンサンブル・ベガ〉は、「小編成なのにオーケストラの音がする凄いアンサンブル」として大人気。しかも、腕達者が揃った高水準の演奏をエンターテインメント性にたっぷりに魅せて聴かせてしまうジャンルを超えた愉しさは、初めての人はもちろん通も唸らせる。多くのアルバムや全国ツアー、そしてNHK教育テレビ『クインテット』などの活躍で大人気の9人が、いよいよ待望の響ホール初登場だ。公演を前に、音楽監督の宮川彬良さん(作・編曲、ピアノ、司会)にお話をうかがった。

取材・文 山野 雄大



撮影：堀田 力丸

ジャンルの垣根を越えた、本物の「音楽」を

数々の舞台音楽や「マッケンサンバⅡ」の大ヒットでもお馴染みの宮川彬良さんは、作・編曲家としてはもちろん、指揮者・ピアニストとしても数々大活躍。ジャンルを横断する演奏活動は、その洒落て愉快なトークもあっていよいよ人気は高い。その宮川さんが音楽監督をつとめる〈アンサンブル・ベガ〉は、1998年に兵庫県の宝塚ベガ・ホールを本拠に生まれた、8人の弦・管楽器プレイヤーと宮川さん(作編曲・ピアノ、司会)によるアンサンブルだ。

阪神・淡路大震災で心沈んだ人々に明るい笑顔を送る……と結成されたこの楽団、幅広い聴き手の皆さんにがっかり楽しんでもらえるステージを展開している。メンバーは、東西のオーケストラで首席奏者を務めるトッププレイヤーばかり。クラシック界の猛者たちが集まっているけれど、決して堅苦しいステージにはならないのが〈アンベガ〉の人気の秘密だ。

「サムライが集まった夢のような室内楽団をつくったときに、コンサートホールの敷居を下げよう、と考えて始めたんです。一部のクラシック・ファンの間だけでもはやされるようではいけない」と宮川さんもおっしゃるように、〈アンベガ〉は「誰でも親しく招き入れてく



れる本物)となった。

シューベルトなどクラシック音楽から、ビートルズもあればミシェル・ポルナレフの(シェリーに)口づけ)まで、「クラシックやポップスの垣根を跳び越えてますよ!」と宮川さん。「クラシックもポップスも深いところまで掘り下げていくと同じなんだ、ということに気づかないと垣根は取れない。両方とも根本の感性は一緒なんだ、とか、音楽って言葉で言えないことを叫びたくてやってるんだ、とか、そこまで掘り下げた音楽を創るのが、僕らの個性であり、役目でもあると思ってます!」

どんぴしゃりの楽器編成にびっくり!

それにしても、絶妙な楽器編成なのだ。宮川さんのピアノは入ったり入らなかったり曲によって使い分けつつ、ヴァイオリンからコントラバスまで弦楽五重奏にクラリネット、ファゴット、ホルン。この室内楽編成から実に生き生きと豊かなサウンドが生まれるから驚きた。

「普通のオーケストラの編成をほとんど削っていくとこの編成にたどり着くんです。しかもこれだけの腕利きが集まると、この人数でオーケストラの音がする瞬間が多々ある。でも一人欠けてもダメ。不思議ですよなえ!」フルートやオーボエ、トランペットといった高い音の管楽器がないのも特徴だ。

「そうなんです。でも、ここまで編成をそぎ落とすと(聴き手の想像力)が出てくるから面白いんです!フルートがいなくても、ホルンとファゴットが響きあって倍音というものをつくとフル

ートに聴こえたりする。いっぱいいないほうがゴージャスに聴こえるんですね!」室内楽だけれどオーケストラ、というわけだ。

「オーケストラの音がするけれど、けっこう大きい室内楽として個人技も発揮できるでしょ……たとえば、学校だと思えば8人のクラスって少ないけど、家族だと思えば8人って多いじゃない。その違いなんですよ。僕らはまざりもなくファミリーなんです!」



その緊密なアンサンブルを創るのは、気心知れて信頼感も深い名手たち。「アンサンブル・ベガ」のみんなは、音楽の大きさをよく知っています。それゆえに志もソロも、アンサンブルの響きも宇宙的(笑)。結成から10年以上経って、ブレンドの熟成度は圧倒的に良くなりましたよ。2日目のカラーミタいな美味さもありながら(笑)フレッシュ感はいっぱいあるし!」

音楽を楽しむながら、愛と人生の豊かさを知る。今回はまず午前11時30分から、夏休み子どもコンサート(★★すこい☆発)

明だ! アキラさんとアンベガ! 発明ワールド大探検!。ごあいさつ・踊り・リズムソナタ・ミュージカル・幸せ……と様々なキーワードで、音楽の面白さとその秘密を(宮川さんの軽妙なトークとともに)ご案内。「発明っていいキーワードでしょ、ふふ」と宮川さん。お子さんに長すぎず楽しめる1時間のコンサートで、音楽の豊かな可能性を見事に伝えて全国で人気のステージだ。

そして午後5時からのメインコンサートは、「愛の練習! 涙と微笑みのための8章」と題してお届けする。「人生ってずっと練習で、ずっと本番なんだよね」と語る宮川さん、恋愛も音楽も……と隠されたメッセージはステージで楽しんでいただくとして、今回は最後に宮川彬良作曲(室内楽のため)のソナタ(ブラック・ジャック)が演奏されるのも注目。破格の天才医師を主人公にした故・手塚治虫の傑作『ブラック・ジャック』に衝き動かされて生まれた作品だ。

「手塚さんは、命のこと、生きてるってどういうことかを一生懸命描こうとしていた。それは、音楽家が何百年も前から突き詰めているものと同じ」と作曲者。「これは、僕が死んでも残る曲です。本人が演奏してるところを観たというのは、未だまで伝える価値があることに違いないと思ってます!」宮川さんも自信をみながら力作だ。「九州は20年くらい前からいろいろ縁があつて来てるんですが、なんたって宮川家のご先祖は柳川なんですよ」という宮川さん。響ホール初来演で九州との絆をますます深める夏、その愉しさと凄さをお聴き逃しなく。

Profile 宮川彬良◎みやがわあきら

1961年東京生まれ。宇宙戦艦ヤマトの音楽を手掛けた故・宮川泰(ひろし)を父に持つ。東京芸術大学作曲科在学中より、「エビータ」を皮切りに劇団四季ミュージカルの音楽(作・編曲・指揮等)を手掛ける。ミュージカルやドラマ音楽も数多く手掛け、96年ABC国際音楽賞を受賞するなど受賞歴も多数。近年ではNHK教育テレビ「クインテット」に「アキラさん」役で出演。04年には10年前に作曲した「マッケンサンバⅡ」が大ブレイクした。98年に誕生した「宮川彬良&アンサンブル・ベガ」は今や定期公演が即日完売するほどの人気。あらゆるジャンルで多彩な創作活動を展開し、類い希な舞台音楽家としての地位を確立している。



2009響ホールへようこそ第2弾 宮川彬良&アンサンブル・ベガ

8月23日(日)

11:30~夏休み子どもコンサート(3歳以上)

※「夏休み子どもコンサート」のチケットは完売しました。

17:00~メインコンサート(未就学児入場不可)

◎響ホール

※詳しくはP15をご覧ください。

